

多摩支部会報 第11号

令和元年度定時総会特別号

令和元年8月10日発行

明治大学校友会
東京都多摩支部

支部長 當麻 功
広報委 飯田光宏



平成から令和の時代が変わって2ヶ月、ちょうど七夕祭りと重なった7月7日、小雨降る中にも拘らず立川グランドホテルには、最多時280名を超える関係者が参集しました。「第16回多摩支部定時総会」等が開催されました。

第一部「公開講演会」では、明治大学文学部教授 諸富祥彦氏による『人は、深いふれあいの中で自己を知る』と題して、【如何にしたら人間関係を構築出来るか】について、全員参加型講演が行われました。

第二部「総会」では、明治大学文学部長 合田正人氏・校友会副会長 和田輝男氏等のご臨席を頂き、日野地域支部所属の中山千夏子氏の司会で、事業報告・決算、事業計画や予算の承認や向こう4年間の役員改選が行われ、新支部長に小平地域支部所属の當麻 功氏（S39 商）が就任されたほか、副支部長・幹事長・監査委員等が変わりました。

第三部「懇親会」では、240名を超える出席者のもと、多摩市地域支部 國分 篤氏司会で、校友会東京都西部支部長 桜井義修氏の乾杯で始まりました。アトラクションには明治大学ビッグ・サウンド・ソサエティ・オーケストを招聘、若さと元気を頂きました。

2p 式次第	5p 校友会代表挨拶	8p 企画事業委員会	21p 役員集合写真
3p 支部長挨拶	6p 新支部長挨拶ほか	9p 父母会長ほか	22p 講演会関係
4p 大学代表挨拶	7p 新幹事長挨拶ほか	10p ～集合写真	24p 千葉大会

明治大学校友会 東京都多摩支部第16回定時総会 次第

日時:2019年(令和元年)7月7日(日) 於:立川グランドホテル(カルロ・スカーラホール)

第一部 公開講演会 司会 小川紳夫

13:00～ 明治大学文学部教授 諸富祥彦 氏
”人は、深いふれあいの中で自己を知る”

第二部 総会 司会 中山千夏子

14:35～	1 開会のことば	小川 孝	第16回総会実行委員長
	2 支部長挨拶	西山 強	支部長
	3 ご来賓紹介		
	4 明治大学代表ご挨拶	合田 正人	明治大学文学部長
	5 明治大学校友会本部代表ご挨拶	和田 輝男	明治大学校友会副会長
	6 議長選出		
	7 議事録署名人指名		
	8 議事		
	第1号議案 2018年度事業報告承認の件	柳澤 正長	幹事長
	第2号議案 2018年度収支決算報告承認の件	伊藤 則義	会計幹事
	2018年度監査報告	齋藤 真吾	監査委員
	第3号議案 2019年度事業計画承認の件	柳澤 正長	幹事長
	第4号議案 2019年度収支予算案承認の件	伊藤 則義	会計幹事
	第5号議案 多摩支部会則改定の件	柳澤 正長	幹事長
	第6号議案 役員選任の件	柳澤 正長	幹事長
	9 新任役員挨拶(役員代表)	新支部長	
	10 閉会のことば	布施 信義	第16回総会実行副委員長

第三部 懇親会 司会 國分 篤

16:00～	1 開会のことば	新支部長
	2 ご来賓祝辞 明治大学東京都多摩地区父母会代表	吉成 文秀 東京都多摩地区父母会会長
	第55回全国校友千葉大会のPR	前田 勝己 校友会千葉県西部支部長
	3 乾杯 東京都4支部代表	桜井 義修 校友会東京都西部支部長
	4 歓談 ビック・サウンド・ソサエティ・オーケストラ演奏	
	5 校歌斉唱	
	6 万歳三唱 明治大学万歳	新支部長
	々 明治大学校友会多摩支部万歳	合田 正人 明治大学文学部長
18:00	7 閉会のことば	中山 雅雄 第16回総会実行委員

第16回 東京都多摩支部定時総会 挨拶



多摩支部長
西山 強
(昭36工 国分寺)

本日は梅雨で足元が悪い中、大変多くの方々にご出席頂き誠に有難

うございます。

大学からは先程、公開講演会で素晴らしいお話を頂いた諸富（もろとみ）教授を始め、ご来賓代表としてご祝辞を頂く合田文学部長、校友会の和田副会長、東京都4支部長・幹事長等多くの方のご臨席を賜り、このように盛大な総会を開催出来ることを、高い席からではありますが、厚く御礼を申し上げます。

又、この総会を約1年がかりで計画して頂いた、小川実行委員長始め、5地域支部（八王子、府中、町田、日野、多摩市地域支部）の役員の方々にも厚くお礼を申し上げます。

時間の関係も有りますので、大学、校友会等の状況は後程、ご来賓の方々から（合田文学部長、和田副会長）お話があると思いますので、多摩支部の状況を中心にお話いたします。

多摩支部は16年前、11地域支部で発足し、その後、岩崎大先輩を中心とした組織部の活躍と当該地元地域支部校友のご理解のもとで21地域支部までに拡大し、多摩支部エリア23市・3町・1村にお住まいの校友は、何処かの地域支部に入会出来るようになり、日本一の最多地域支部数21を誇る支部に発展・拡大して参りました。

しかし、各地域支部の設立時期を見ましても、大正時代に設立された地域支部から5年前の設立の地域支部と、100年の差が有り、校友数でも3,000名以上のところから300名のところまでと規模でも約10倍の差があります。

この様に多摩支部は地域支部の格差が非常に大きく、これらが多摩支部の大きな課題となっています。

この様な時期に私は支部長として、当面の課題として以下の3点に重点を置き、支部運営に努めて参りました。①各地域支部の質の向上、②女子を含めて若者の数・質の向上（女性の懇親会出席26名）、③情報のスピードアップをはかるということです。

この改善方法や進捗状況は役員会や会報等で皆様に、ご報告していますのでここでは省略いたしますが、改善は少しずつながらも確実に前へすすんでいると言えます。

このように一步一步前へ進めることが出来たのも各地域支部の役員や皆様のお蔭と深く感謝しています。多摩支部を一つの大きな輪とし（多摩はひとつ）、更に前へすすんでいきましょう！

本日は年に一度の総会であり、4年目の役員改選も有りますので十分に時間をとり、ご審議頂くのが筋かとは思いますが、その後、皆様がお楽しみにされている、懇親会も予定されており、時間が押し迫っております。

そのあたりをどうぞご理解頂き、ご協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。どうぞよろしくお願い致します。



ホームカミングデー

うれしい「再会」「新しい」つながり

10月27日（日）



第16回 東京都多摩支部定時総会 祝辞



明治大学文学部長
合田 正人

一橋大学社会学部卒
2004年 文学部教授
2017年 文学部長

「はじめに」

2004年に明治大学で教鞭をとり始めて15年になります。

本日は多摩支部定時総会にお招きいただきありがとうございます。また日頃から明治大学へのご支援ご協力にお礼を申し上げます。

私は香川県出身であります。大学が国立にあり（一橋大学）、18歳の時からこの多摩地域内に住み、又首都大学東京で教師であった時には稲城のアパートに住んでいましたので、大変、思い出深いものがあります。特に、稲城のアパートの隣人が、毎年、大学のOB会に出ているような話をされ、その大学が明治大学で、OB活動に感嘆したものでした。フランスでもセネガルでも明大OBと触れ合ったことで、明治のOBが世界で活躍していることを実感しました。

「明治大学の近況―事例紹介」

ご承知のように受験者数は3年連続で11万人を超えておりますが、前年比で約8000人減少しました。背景のひとつには、定員管理の徹底があります。受験者実数は概ね受験者の1/2で、約57000人です。一人の受験生が2学部（科）

受けたことになりましたが、実数5万人というのは社会的責任大と言えます。

大学が今取り組んでいる一つに、SGU（スーパーグローバルユニバシティ）＝国際化への対応があります。留学生の受け入れと派遣です。受け入れに関して

今年4月、和泉キャンパス内に国際混住寮（グローバルビレッジ）が開設されました。216名定員で満室です。216名の内86名が外国からの留学生です。地方からの学生と混住です。日常を通じて国際化を図っていくものであります。

最近、地方からの入学生が減少しており、70%が関東近県からです。もっと地方からの学生が入りやすい環境を整備する必要があります。

スポーツについては言うまでもありません、相次ぐ全国優勝です。

次に、校舎の老朽化等への対応があります。既に「和泉キャンパス新教育棟（仮称）整備計画」が始動しており、2022年3月の竣工を予定しています。明治大学和泉第二校舎を設計した著名な建築家 堀口捨己氏の精神と外観の継承を図り、その思想を先進的教育環境として発展させた建物であります。明治大学の先生（建築家・中村拓志氏）も参画されています（大学HP引用）。再来年には140周年を迎えます。記念事業も多々あり、校友会の皆さまにはご寄付等お願いしているわけですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「厳しい環境」

今、大学を取り巻く環境は大変厳しく、大きく変化してしていかなければならない。、36年教員生活をしていいますが今度こそ、本当に変わっていかなければならなりません。10年・20年先が読めない。大学がどういう形になっているのか、700幾つもの大学があり、それをどういうふうにやっていくのか。大学の経営統合が始まっています。私立と国公立の経営を統合する事例、あるいは地域的に分散している大学が協力するとかが始まっています。民間企業では大きな会社が倒産するとか、ライバル会社同士が経営統合するとか、今までの常識外のことが始まっています。明治大学がいかんして生き残るのか、時代の変化を先取りした対処が必要であります。

＊ ＊5ページ下段へつづく

第16回 東京都多摩支部定時総会 祝辞



明治大学校友会
副会長 和田輝男
(昭44 政経)

私は、昭和44年政治経済学部卒業の和田輝男と申します。

本日は東京都多摩支部総会にお招き頂き有難うございます。先々代の支部長宮崎國雄氏、先代の安田 暉支部長そして現 西山支部長と永きにわたり、多摩支部と関わりを持って歩んできましたので、このように盛大に総会が開催されますことを、自分のことのように嬉しく思い、お祝いを申し上げます。

母校明治大学は、正月には22年ぶりに大学ラグビー日本一に輝き、この6月には実に38年ぶりに、野球部が全日本大学野球を制覇しました。喜ばしい限りであります。元号が令和に変わり、明治が完全復活に向

けて輝いているように見えます。

さて、校友会では母校学生支援のため、2004年に「校友会奨学金制度」を創設し、また2015年度から、地方出身学生を対象とする奨学金「つなげ！紫紺の“たすき”」を、そして2018年度からは新たに、経済的な理由により就学困難な学生に対し、学業の継続を支援する新奨学金「前へ」を創設しました。全て返済不要な奨学金であります。

多摩支部の皆さまには、日ごろから母校支援のためにご活躍して頂いていることに感謝申し上げます。

多摩支部地域内からも更に志願者が多くなるように、これらの奨学金制度をPR願いたいと思います。

明治の校友は髪の毛が薄くなるほど、母校愛が濃く強くなるといわれます。

これからもどうぞ母校明治大学校友会をよろしくお願い申し上げます。

本日はこのような盛大な総会、誠にありがとうございます。（口述筆記：広報/飯田）

「結びに」

明治大学は1975年にセネガルの大統領レオポール・セダール・サンゴール氏に「名誉博士」号を授与いたしました。その折、大統領から数千冊の寄贈があり、アフリカ文学、文化、社会、思想、歴史書を核としたアフリカ関連の図書をそろえた「アフリカ文庫」を和泉図書館に収蔵していますが、その絆が十分生かされていない。国際化というと世界的に評価された発展した国とのかかわりを考えがちだが、50年後のアフリカはどう展開を遂げているのか、そことの協力関係はどうなっているのか、グローバル化に逆うのかもしれませんが、非英語圏との交流も図っていきたいと考えておりま

す。

時代の空気・風をよみながらも一見すると反時代的に捉えがちなものも考慮しながら、生き残りをかけて対応していく所存であります。

結びに、多摩支部及び校友会のそして明治大学の益々の発展を祈念して祝辞といたします

（記：多摩支部広報/飯田）

和泉新教育棟イメージ（大学HP）



多摩支部長就任のご挨拶



当麻 功
(昭39・商 小平)
主な役員歴
組織委員長
副支部長

校友会多摩支部の皆さまこんにちは。この度、多摩支部長を仰せつかりました当麻功でございます。どうぞよろしくお願い致します。

私は、校友会への参加が地元地域支部から多摩支部に移ることとなつてからの数年間、さらに多くの校友の皆さんとの交流のもとでたくさんの刺激を受け、学び、そしてなによりも楽しめる機会に恵まれました。校友会の素晴らしさを実感するとともに、こういう機会に巡り合い感謝の気持ちでいっ

ばいです。

多摩支部のこの15年間の歩みは、多摩地区在住校友の皆さんの完全組織化に向けて21の地域支部が設立され、当初の目的を達成するに至りました。3代にわたる多摩支部長と組織委員の皆さんの情熱とご努力に感謝の意を表したいと思います。この間、ディスクゴルフ、地域間交流プロジェクトなどの展開により多摩支部と地域支部が一体となつて校友会を盛り上げてきました。

今後は、先輩諸氏が築き上げた多摩支部をさらに進展させていくために、皆様のご意見をお聞きしながら、微力を尽くしてゆく所存でございますので、ご支援とご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

退任挨拶



西山 強
(昭36・工 国分寺)
主な役員歴
幹事長
支部長

第16回 東京都多摩支部定時総会も盛大に終わることが出来有難うございました。

私も4年間の任期を無事に終わることが出来たのは各役員及ぶ会員の皆様のご協力、ご指導の結果と思っています。

東京都多摩支部が地域支部数や総会出席数とも日本一の支部に発展したことも一つの表れと思っています。

今年は令和という元号とともに新しい時代が始まっています、東京都多摩支部も当麻 功 新支部長を迎えました。当麻新支部長は私以上に支部のことを思い、積極的に行事を進めて行かれる方で、新体制でいろいろな改革に向って進められることでしょう！、それには私以上のご協力、ご支援をお願いし退任の挨拶といたします。

大勢のご来場に感謝



幹事長就任のご挨拶



太田 東平
(昭40年 政経・町田)

主な役員歴
副幹事長

この度、當麻新支部長の指名を受け、総会でご承認を頂き、幹事長に就任する事になりました。町田地域支部所属の太田東平でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。そもそも、私が校友会活動に参加した動機は九州での単身赴任時に仕事と関係のない知己を作ろうと感じたからです。その後町田に転居し、念願かなって？地域支部のゴルフ同好会に参加し今日に至っております。多摩支部は全国一の21地域支部を要し、各地域支部がオリジナリティな活動で支部の活性化に取り組まれている実

態に頭が下がります。これからは出来るだけ行事に参加し、皆様のご意見を取り入れながら横断的な情報交換のお手伝いをしていきたいと思います。

組織を身体に例えるならば校友会本部＝頭・支部＝胴体・地域支部＝足腰であり、人にとって一番大切な部分は足腰＝地域支部です。地域支部に若手会員や女子会員が増え、その運営へ積極的な参画がなされて初めて校友会の発展があることは間違いない事実でしょう。但し、「言は易き行ふ難し」は言うまでもありますが、この厚い壁を皆さんの英知を絞って打ち破り「前へ！」こそ明治大学校友会の明るい未来があると期待して止みません。

お互いにより良いコミュニケーションをはかり頑張りましょう！

よろしくお願い致します。

退任挨拶



柳澤正長
(昭38年 工 国立)

主な役員歴
副幹事長

この度、校友会多摩支部支部幹事長を辞することになりました。この4年間、なんとか務められてきたのも、ひとえに役員はじめ校友の皆様の温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

明大校友会の中において、東京都多摩支部は21の地域支部を持ち、校友も24,000名を超える支部であり、幹事長を務めさせて頂いたことを誇りに思っています。

つい先日、多摩支部第16回定時総会が300名近い校友参加のもと盛大に開催、同時に公開講演会も行われ、多くの市民も参加し

ました。校友会56県単位支部の中では最大の規模であり、東京都多摩支部の誇りであると確信しております。

一方、東京都5支部による新たな事業も開始されました。大新年会、名刺交換会等が東京都5支部に所属する46地域支部長、幹事長の参加により盛大に開催され、大いに親睦を深めることができました。

結びに、東京都多摩支部の益々の発展と校友の皆様のご健勝を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

有難う御座いました。



企画事業委員会ご案内

今年の明大スポーツは元気です。ラグビー部、サッカー部、野球部の活躍はうれしいかぎりです。企画事業委員会はこうしたスポーツ応援を通して、各地域支部相互の繋がりを図ってまいりましたが、そろそろ次のステップに進める時期ではないかと思っています。



6月21日硬式野球部優勝パレード&祝勝会（中央右側付近に筆者もいます）



今年度より、企画事業委員会を引継ぎました、日野地域支部の江面（昭和47年工学部建築学科卒）です。宜しくお願いします。

さて、多摩支部総会で西山強前支部長が「多摩支部は16年前11地域支部で発足、5年前21地域支部に拡大し、23市3町1村どこかの地域支部に入る体制が整った。しかし、設立時期によって、大正時代から5年前までと100年の歴史の差、また校友数でも3000名以上から300名足らずの地域支部もあり格差が大きい課題がある。」と云われております。歴史のある大きな地域支部では様々な同好会もあり、それなりの活動も行われていますが、小さな規模の地域支部では、なかなか同じレベルで活動することは難しいのではないのでしょうか。これからは、その格差を無くしていくことが必要です。組織を維持、発展させる活動は、一地域支部内だけでなく、周辺地域支部とのコラボレーションが大切です。その手助けをすることが役割ではないかと考えております。具体的にどう行うかはこれから追々考えていきますが、基本的には、地域支部間の垣根をなくして横の繋がりを作ることが企画事業の仕事だと思います。一つは、①各地域支部の企画情報を共有し、一地域支部単位ではなく多摩支部全体あるいは近隣グループとして情報提供できる環境にすること。二つ目は、スポーツに限らず、音楽、芸術など、若者、女性、家族、老若男女、誰でもが参加できる企画が出来たらと思います。三つ目は東京4支部および父母会との関係強化もしたいと思います。東京4支部のイベントにも多摩支部から参加できるようにしたいと考えています。

多摩支部のホームページの中にも東京4支部（東西南北）の情報や父母会の情報があっても良いと思っています。

以上

（写真は明治大学硬式野球部オフィシャルブログより）

懇親会



吉成文秀 氏
明治大学多摩地区父母会長
招待謝意と校友会と
父母会の連携について
のご祝辞を頂きました。



桜井義修氏
校友会東京都西部支部長
東京都4支部代表として
5支部の連携の強化と乾
杯のご発声を頂きました



第55回全国校友千葉大会PR

前田勝己 校友会千葉県西部支部長には、映像と共に「千葉県の
海の幸と名勝地の紹介・ゴルフ案内等を頂き、多摩支部校友の多くの
参加を期待している」とのお話がありました。

明治大学校友会 東京都多摩支部第16回定時総会担当5支部

実行委員長 小川 孝 (日 野) 副実行委員長 布施信義 (府 中)

総会等幹事 日野 懇親会等幹事 多摩市 講演会等幹事 町田

アトラクション等 八王子, 写真 町田 アンケート等 府中 事務局：日野

懇親会アトラクション

現役学生による迫力一杯の 生演奏



明治大学ビッグ・サウンド・ソサエティ・オーケストラ



ご来賓
(左&下)



ご来賓のみなさま

明治大学文学部長

校友会副会長

多摩地区父母会長

東京都東部支部長

東京都東部支部幹事長

東京都西部支部支部長

東京都西部支部幹事長

合田正人 様

和田輝男 様

吉成文秀 様

松村正一 様

西村克己 様

桜井義修 様

小川廣男 様

東京都南部支部副支部長 宇田川進 様

東京都南部支部幹事長 白岩宏章 様

東京都北部支部支部長 三森 勲 様

千葉県西部支部支部長 前田勝己 様

ご臨席ありがとうございました

地域支部別集合写真



邂逅 伝統と先進を目指して 八王子

「若手会員募集強化に向けて、働き盛りをどう集めるか、トライしてみます！」



新たな作戦で会員増強を図ります 昭島

花と緑と水に恵まれた東京のオアシス、会員拡大に全力 羽村



昭和・平成と歴史を育んだ府中地域支部、新たな令和の時代にふさわしい活動の輪を更に前へ！ 府中



“校友が心を寄せ合って、心地よいなごむ場”

小平



80歳代から今年卒業の新人迄参加

町田



楽しく、前へ！

小金井



ダイバーシティービジョン明治140を目指し、天性に相当優れた多様の能力
持つ女子を先頭にした村山地域支部へ！

村山



「地域に貢献・集まろう 紫紺の旗のもとに」 武蔵野



女性会員増員の秘策「甘いお菓子」と「甘い言葉」 国立



明大と青梅の発展のために張り切ってます 青梅



3年前に総会を担当、早くも来年又きます。よろしく！ 三鷹



強固な絆を更に広げ、新たな時代にも対応できる支部活動を目指しております 国分寺



我ら生涯青春！令和時代も元気に「前へ！」 日野



明るく元気でいこう！ あきる野



「来年の地域支部設立10周年に向けて頑張ります！」 東久留米



「五月雨を あつめて早し 最上川」のおもいで 前へ！ 清瀬



現在87名、とにかく楽しい催しを積極展開中！ 多摩市



「福生市、瑞穂町の校友の加入待ってます！」 福生



”稲城のなしのすけ”でござる

稲城





明治大学校友会東京都多摩支部役員集合写真

懇親会場スナップ



アンケート集計結果—講演会関係抜粋



回収枚数：77 枚

回収率：77/254=30.3%

☛ 前後 4 人一組で話し合い

3. 本日の講演会について

良かった	期待した内容でなかった	合計
60	15	75
80.0%	20.0%	比率

【③公開講演会について】 24 人記述

- ・講演会が良くない（年齢不明 男）
- ・50 代 男・講演会が良くない（年齢不明 男）
- ・講演会への不満、対象者が 70～80 代である事を考えた内容でお願いしたい。（70 代 性別不明）
- ・たくさん笑った（20 代 女）
- ・グローバルの視点も入れてほしい。学生との連携を入れてください。（60 代 性別不明）
- ・たのしかったです。みんなやさしい気持ちでのぞめました。（40 代 男・今までになかった。（
- ・勉強になりました。（70 代 女）
- ・たのしかったです。（70 代 男・
- ・珍しい文学部教授のお話でした。（80 代 男）・くだけてわかりやすかった。（70 代 男）
- ・他の参加者との会話の機会を得られたので。（50 代 男）
- ・楽しかった。（70 代 男）
- ・グループ作りで今までなかった親しく会話等が持てたこと。（70 代 男）
- ・高齢になって反省させられる点に気が付いた。（80 代 男）・明確な内容が良かった。（70 代 男）
- ・楽しい講演会でした。（60 代 男）・ますます（80 代 男）
- ・全員参加で勉強になった。（60 代 男・なかなか体験できないメニューであった（60 代 男）
- ・一風変わった内容で新鮮だった。（70 代 男）・楽しく過ごせました。（70 代 男）
- ・面白かった。（80 代 男）・身近な問題が中心のいい話であった。（70 代 男）



公開講演会

明治大学 明治大学校友会東京都多摩支部 公開講演会

人は、深いふれあいの中で自己を知る

講師 明治大学文学部

諸 富 祥 彦（もろとみよしひこ）教授

「講演会で、こんなに笑ったのは、はじめて」「元気になった」

「大事な気づきが得られた」と大評判の諸富祥彦教授の講演会です。

（講師経歴等）筑波大学大学院博士課程修了 教育学博士

英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員
研究員、千葉大学教育学部講師、助教授、明治大学文学部助教授を経て、
現在、明治大学文学部教授

教育関係者の研修会、保護者向けの講演
会、中・高生対象の講演会、企業の人間関
係研修、一般向けの生きがいを育む研修会
などで大活躍。

臨床心理士、上級教育カウンセラー、
学会認定カウンセラー等の心理の専門家。

日 時 2019年7月7日（日）



学生に大変人気のある文学教授 諸富祥彦先生をお招きし、一般市民も参加できる公開講演会を立川市教育委員会等の後援を頂き、開催。一般市民40人位を含む260名を超える老若男女が受講され、「いきなり全員起立しもろ手を挙げて・・・」の開始にビックリ仰天のスタートでした（多摩支部広報担当記）

戸惑いから納得への60分

小川紳夫（町田地域支部）

の

参加者校友にとって、今回の講演会はかなり型破りで馴染みの薄い講演であったろうと思います。

「人は、深いふれあいの中で自己を知る」という演題を見て、4人一組になってのワークショップから講演が始まることを予期していた方は現代の手法についてかなり知識がある方で、参加者の中で少数だと思います。「皆さん、椅子から立って4人一組になってください」という講師の指示にうながされて、立ち上がった時の会場のざわめきには複雑な思いがあったようです。意外な展開に戸惑っている方が多かったようです。会場の平均年齢はかなり高く、こういうスタイルを体験したことがない方が大多数でしょうから、当然です。

しかし、照れながらも指示されたテーマで身振り手振りを交えて4人一組でコミュニケーションを図っていくうちに、参加者

表情が穏やかになり、笑顔が増えてきました。時間の経過とともに会場の空気が和やかになっているのが感じられました。平均年齢が高いとはいえ、さすが「明治大学OB」です。対応力・適応力抜群です。

「こんなことをやらなくても昔はガキ大将を中心にした集団で、友達や上級生・下級生との付き合い方なんかは生活の中で身についたものだよ」という声が聞こえてきそうです。でも、現代はこれを意図的にやらなければ、自然に身につくことは難しく、聴く力や自己表現力、いわゆるコミュニケーション能力を高める必要があるのですね。まさに「エンカウンター」の効果が期待されています。

後半の30分は前半の活動のふりかえりをする中で理論的な意味づけや価値づけがされました。皆さんも「納得できた」という満足げな表情でした。短時間でも人は変われることを実証した講演でした。

千葉はお隣、
来てくださいね。多摩支部の皆様、
期待して待つて
ますよ



成田山新勝



「雪峰不二」



伊勢海老(千葉県が産獲量全国1位)



東京湾アクアラインと海ほたる



いすみ鉄道



鴨川シーワールド

やっさい! もっさい! おっさ!! 来たいよ総の国

明治はひとつ

第55回 明治大学全国校友

MEIJI UNIVERSITY

千葉大会

令和元年 10.5^土→8^火

主催 明治大学全国校友千葉大会実行委員会

(明治大学校友会千葉県東部支部・西部支部)

10/5^土

【前夜祭参加費】
校 友: 12,000円
同伴者: 10,000円

支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会
15時～16時30分

前夜祭

17時～19時

●東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
(浦安市舞浜)

10/6^日

【大会参加費】
校 友: 13,000円
同伴者: 10,000円

エクスカーション(半日・2コース)～13時30分

A成田山新勝寺参拝 Bマンドリン倶楽部ランチコンサート
(ホテルグリーンタワー幕張)

第1部 記念式典 14時30分～15時45分

第2部 記念講演 16時～17時

いすみ鉄道 前社長 島塚 亮氏(予定)

●幕張メッセ(千葉市美浜区)

第3部 懇親会 17時30分～19時30分

●ホテルニューオータニ幕張
(千葉市美浜区)

10/7^月・8^火

エクスカーション(県内・都内)

記念ゴルフ大会(真名カントリークラブ)

～司会は明大校友の4名が担当!～



10/5 前夜祭司会

竹山まゆみ(フリーアナウンサー)

國吉 晃甲(千葉コミュニティTV司会者)

10/6 大会懇親会司会

編集後書 第16回定時総会が多くの方の参加のもと、公開講演会とともに開催されました。実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした。今回は「七夕総会」となり、校友の関係会社からお菓子の詰め合わせが女性にプレゼントされました。今回は4年毎の役員改選もあり、会報の多くのページをご挨拶・ご祝辞等で割いたため、写真の掲載が少なく申し訳ありません。また撮影にあたっては、国立の若村氏と町田の 永田氏に大変なご協力を頂きましてありがとうございました。明大祭募金 171,380円でした。

多摩支部広報委員会